

生活にかかせない水 使ったあとはどこへ?

畔田 詩央

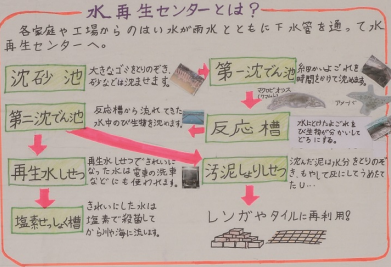


まずは下水道へGo!

下水のことを知るために都の下水道館へ。省明水再生センターというところに見学に行ってきたよ。

東京都には20ヶ所の水再生センターがあり、私達が毎日使った水をきれいにしてくれています。水再生センターで水海にもどすことで海がよくなります。

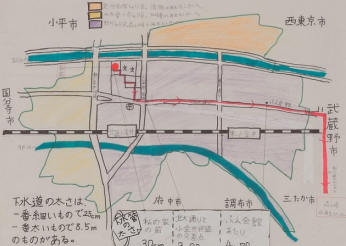
都の下水道館では、下水道の役割や水がくまなくの大切さを学べるほか、下水道に関係するお仕事体験ができます。私は、生物がかんさつしようというのを体験しました。ほかにもいくつかのお仕事体験ができます。遊歩道などから水の流れも学べるところもあります。



私の家の水はどの再生センターへ?

東京都に水再生センターが20ヶ所あることを知り、私の使った水はどの再生センターに行くのが気になり、市役所の下水道課を訪ねました。

私の住んでいる小金井市は3つのしりべい区に分かれています(市の地図参照)。私の家は野川しりべい区で、森ヶ崎水再生センター(大田区)まで行くのがわかりました。市役所の下水道課では、市内の下水道がどのように通っているのかが分かるようになっていて、私の家から出た下水が通っていく順路も教えていただきました。(地図の赤色の線)



下水道課で聞いたお話を

- ☆ 小金井市内のマンホールは18種類あり、市内で約12000個ある。
- ☆ 24年度末の市内の下水道管をつなげる24kmになる。
- ☆ 下水道には合流式と分流式がある。市内は栗野川付近は分流式だがほとんどが合流式。野川付近は雨水をそのまま野川に流すために分流式になっている。
- ☆ 集中ごうりょうなどで水管があふれるのをさくせんするために各家庭に雨水しんどうますをつけることをすすめている。
- ☆ 家はけは加けくずの原いになるのでしんどうは禁止。
- ☆ 家庭に雨水貯りょうをせよ。方するのをすすめている。雨水貯りょうをせよ。つけた人にはほしん金があります。(かんさつせいさく課のたんとうて)

マンホール

- ・ 一般的なふたの大きさは直径60cm、重さは約40kg。
- ・ 昔はコンクリートで、今はほとんど鉄せい。
- ・ 各々がデザインしたマンホールにした時期もあるが、小金井は桜のもよう。
- ・ 現在はさより止めのついた耐スリッパが使われることが多い。

感想・分かったこと

毎日のように目にはしているマンホールやその下にある下水道管の役割を知ることができた。私達が使った水はたかさんの人の力や目に見えない生物のおかげできれいになり、川や海に流れていくことを知り、私達も自分達にできることはやり、自然を守り、道に落ちているゴミや落ち葉もそのまゝにしておくとも雨水が下水道に入っていくと、落ち葉はさきます。外にはすてないかな。下水道のためにさくせんがたかさんあることが分かった。

油を流さないために

あげものに使った油で、ちりすてやせけんを作ってみました。楽しみながら下水道を守ります!



合流式 汚水と雨水を同じ管で流す。

分流式 汚水と雨水をべつべつの管で流す。

良い点 せんけつが安くすて地下がしりす。

良い点 汚水だけが水再生センターに送られるのでごりがたない。

悪い点 大雨がふった時にあふれるのをさくせんするため汚水を流し出す。

悪い点 大雨の時に汚水が川や海に流れていく。せんけつがたない。